

エコアクション21 環境活動レポート



平成26(2014)年度

【活動期間】

2014年04月～2015年03月

発行日：2014年4月16日



大分デバイステクノロジー株式会社

目次

【 1 】環境方針	P3
【 2 】組織の概要及び対象範囲	P4
【 3 】実施体制 & 役割と責任	P5
【 4 】環境目標	P6
【 5 】環境活動計画	P7
【 6 】環境目標と実績	P8
【 7 】環境活動計画の取組み内容と今後の方針	P9～11
【 8 】環境関連法規等の遵守状況	P12
【 9 】環境活動パフォーマンス	P13
【10】代表者による全体評価と見直し結果	P14

【 1 】 環 境 方 針

環 境 方 針

〈 基 本 理 念 〉

大分デバイステクノロジー株式会社は、「かけがえのない地球環境を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動を認識し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境負荷低減に努力します。

〈 行 動 指 針 〉

大分デバイステクノロジー株式会社は、“ななせ川”の清流に近隣する恵まれた自然環境のもと、『自然の豊かさ、清らかさを誇る、ふるさと九州・大分・野津原で、世界を動かすテクノロジーを磨き続けます』との認識に立って、環境保全への取り組みを工場経営の最重要課題の一つとして位置づけます。調達から廃棄に至るまで環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境経営活動を推進し地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目に取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量削減
- (2) 廃棄物排出量削減
- (3) 水使用量削減
- (4) グリーン製品の購入推進
- (5) 製品・サービスに関する環境配慮

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

上記の方針達成のために、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定日:2013年08月01日

大分デバイステクノロジー株式会社

代表取締役社長 安部 征吾

【 2 】 組織の概要及び対象範囲

■組織の概要

1)名称及び代表者

会社名:大分デバイステクノロジー株式会社

代表者:代表取締役社長 安部 征吾

2)所在地

本社工場(第二工場):大分県大分市大字野津原1660番地

第一工場 :大分県大分市大字野津原1604番地

3)環境管理責任者及び担当者(事務局)連絡先

環境管理責任者 管理部 部長 荒木 淳二 電話:097-588-1153

事務局 管理部 課長 宮崎 一也 電話:097-588-1153

4)事業内容

半導体アセンブリ事業、半導体試作・開発サポート事業、特定人材派遣事業、

環境健康事業(環境・健康商材販売)、縫製事業(自動車用シートの縫製)

省エネルギー推進工事業(特定建設業許可番号:大分県知事 許可(特-25)第13504号)

(有効期間:H25年4月16日~H30年4月15日まで、建設業の種類:電気工事業)

5)事業規模

	全社	第二工場	第一工場
売上高(百万円)	1,079		
従業員(名)	127	104	23
延べ床面積(m ²)		2,841	940

【注】従業員=常勤役員、社員、パートなどすべての役職員を含む

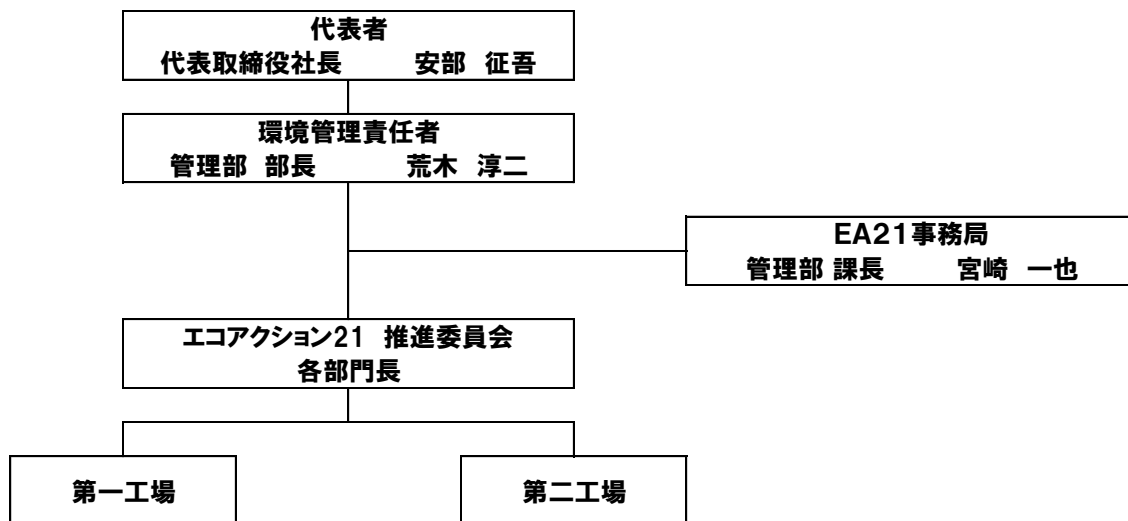
売上高は平成24年度、従業員数、延べ床面積は平成25年8月末現在。

6)会計年度 【期首】8月1日 ~ 【期末】7月31日

7)環境年度 4月1日 ~ 3月31日

【 3 】 実施体制 & 役割と責任

EA21実施体制



役割と責任及び権限

担当	役割 ・ 権限 ・ 責任
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境目標、環境活動計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処理の承認 ・環境活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成
エコアクション21 推進委員会 (部門長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標、環境活動計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境活動に関する意見交換 ・自部門における環境活動の実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

【 4 】 環 境 目 標

【各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日】

環境方針 番号	選択課題	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)	平成26年度 (2014年)	平成27年度 (2015年)
		平成24年(2012年)04月 ～ 平成25年(2013年)03月	平成25年(2013年)04月 ～ 平成26年(2014年)03月	平成26年(2014年)04月 ～ 平成27年(2015年)03月	平成27年(2015年)04月 ～ 平成28年(2016年)03月
		実績 (基準年度)	目標	目標	目標
1	二酸化炭素排出量削減	2,159,757 Kg-CO2	基準年度比 △1% (2,138,159kg-CO2)	基準年度比 △2% (2,116,562kg-CO2)	基準年度比 △3% (2,094,964kg-CO2)
	1-1 電力消費量削減	4,113,822 kWh	基準年度比 △1% (4,072,684kwh)	基準年度比 △2% (4,031,546kwh)	基準年度比 △3% (3,990,407kwh)
	1-2 化石燃料消費量削減				
	A重油	7,000 L	使用量把握と 適切な管理	環境活動の実施率を環境目標にする	
	ガソリン	6,644 L	使用量把握と 適切な管理	環境活動の実施率を環境目標にする	
	軽油	4,562 L	使用量把握と 適切な管理	環境活動の実施率を環境目標にする	
2	廃棄物排出量削減	データなし Kg	分別基準の策定と 測定開始	環境活動の実施率を環境目標にする	
3	水使用量削減	4,309 m ³	使用量把握と 適切な管理	環境活動の実施率を環境目標にする	
4	グリーン購入の推進	データなし %	グリーン購入比率を管理する		
5	製品・サービスに 関する環境配慮	データなし	省エネ・環境商材の販売を適切に管理 省エネ・環境商材の積極的紹介(全従業員)		

※電力の二酸化炭素排出量算出は、九州電力の平成24年度CO2排出係数0.525kg-CO2/Kwhに拠る。

【 5 】 環 境 活 動 計 画

作成日 2013月09月06日

改定日 2015月04月01日

環境方針 番号	目標課題		具体的な行動(活動)	対象部門
1	二酸化炭素排出量削減			全部門
	1-1	電力消費量削減	1. デマンド監視と節電対策	
			2. 工場内照明の節電	
			3. 空調の適正温度管理(夏季28℃、冬季20℃)	
			4. 空調機のフィルターの定期的清掃	
			5. 休憩時間の消灯	
1-2	化石燃料消費量削減	1. A重油の使用量把握と適切な管理		
		2. ガソリンの使用量把握と適切な管理		
		3. 軽油の使用量把握と適切な管理		
2	廃棄物排出量削減			全部門
	2-1	産業廃棄物排出量削減	1. 分別基準の作成し、分別指導	
			2. 工場内の分別廃棄を徹底し、産業廃棄物の定量把握を継続	
	2-2	一般廃棄物排出量削減	1. 分別基準を作成し、分別指導	
2. 工場内の分別廃棄を徹底し、一般廃棄物の定量把握を継続し、今後削減の施策を検討				
3	水使用量削減		1. 使用量把握と適切な管理	全部門
			2. 水回りに節水ラベルの貼付	全部門
4	グリーン購入の推進		1. グリーン商品の確認・購入	全部門
			2. グリーン商品購入比率のフィードバック	全部門
5	製品・サービスに関する環境配慮		1. 省エネ・環境商材の販売を適切に管理	全部門
			2. 省エネ・環境商材の積極的紹介	全従業員

【6】環境目標と実績

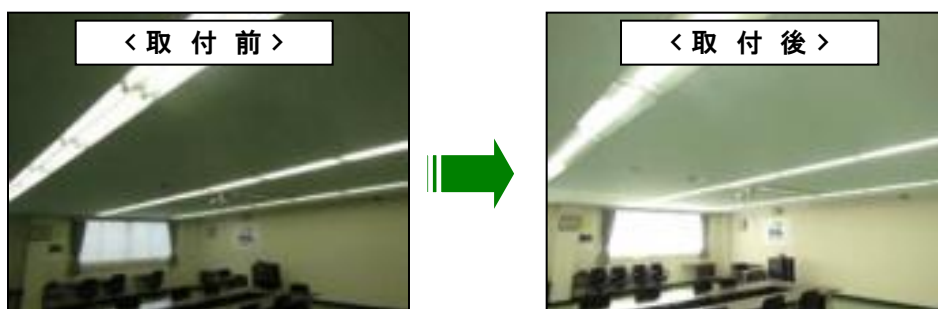
【各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日】

環境方針 番号	選択課題		単位	平成24年度 (2012年)	平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		
				平成24年(2012年)04月 ～ 平成25年(2013年)03月	平成25年(2013年)04月 ～ 平成26年(2014年)03月		平成26年(2014年)04月 ～ 平成27年(2015年)03月		
				基準期間	目標	実績	目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減		Kg-CO2	2,159,757	2,138,159 ▲1 (%)	1,979,906 ▲7.4 (%)	2,116,562 ▲2 (%)	1,996,549 ▲5.7 (%)	○
	1-1	電力消費量削減	kWh	4,113,822	4,072,684 ▲1 (%)	3,771,250 ▲7.4 (%)	4,031,546 ▲2 (%)	3,802,950 ▲5.7 (%)	○
	化石燃料消費量削減								
	1-2	A重油	L	7,000	使用量把握と 適切な管理	8,000	使用量把握と 適切な管理	6,000	○
		ガソリン	L	6,644	使用量把握と 適切な管理	8,538	使用量把握と 適切な管理	8,732	△
軽油		L	4,562	使用量把握と 適切な管理	6,294	使用量把握と 適切な管理	7,634	△	
2	廃棄物排出量削減		Kg	27,131	分別基準の 策定と測定開始	一般:データ無し 産業:22,711	分別基準の 策定と測定開始	一般:468 産業:21,610	○
3	水使用量削減		m3	4,369	使用量把握と 適切な管理	3,295	使用量把握と 適切な管理	3,645	○
4	グリーン購入の推進		%	データ無し	グリーン購入比率 を把握し、推進施策 を検討する	グリーン購入比率を把 握(37%)	グリーン購入比率 を把握し、推進施策 を検討する	グリーン購入比率を把 握(26%)	○
5	製品・サービスに関する 環境配慮		-	-	省エネ・環境商材の 販売を適切に管理	省エネ環境事業部門 として目標を設定し、 販売活動実施	省エネ・環境商材の 販売を適切に管理	省エネ環境事業部門 として目標を設定し、 販売活動実施	○
			-	-	省エネ・環境商材の 積極的紹介 (全従業員)	各部門の目標管理とし て、全従業員に周知	省エネ・環境商材の 積極的紹介 (全従業員)	各部門の目標管理とし て、全従業員に周知	

【 7 】 環境活動計画の取組内容と今後の方針①

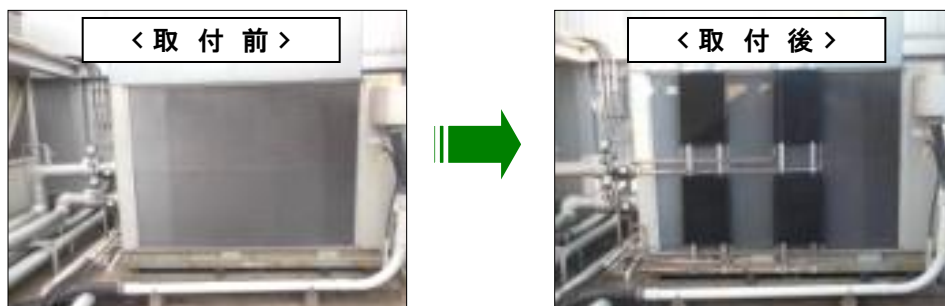
環境方針 番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果と今後の方針	対象部門
1	二酸化炭素排出量削減			全部門
	1-1 電力消費量削減	1. デマンド監視と節電対策	デマンド監視装置を活用し、省エネ機器の更新・新規設置、照明の間引きおよびLED照明化で節電し電力消費量の削減が出来た。今後も電力消費量の削減を継続していく。	
		2. 工場内照明の節電		
		3. 空調の適正温度管理(夏季28℃、冬季20℃)		
		4. 空調機のフィルターの定期的清掃		
		5. 休憩時間の消灯		
	1-2 化石燃料消費量削減	1. A重油の使用量把握と適切な管理		
2. ガソリンの使用量把握と適切な管理				
3. 軽油の使用量把握と適切な管理				

[1-1]工場内照明の節電《LED照明化》



【H26(2014)年10月】第二工場大会議室照明を最先端のLED照明に取り替えました。蛍光灯より54%の省電力。
エアコンの能力を改善し、低コストで大きく省エネ！

[1-2]空調消費電力削減



【H26(2014)年04月】C/Rエアコン使用電力量及びデマンド(契約電力)削減のため、空調用チラー2台へTEL-CON(冷暖房装置追設コンデンサー)を取付ました。

『年間省エネ金額』 1,137,000円 『省エネ率』 20%

『年間CO2削減量』 44,000kg/CO2 (年間に3147本の木を植えた事と同じです)

【 7 】 環境活動計画の取組内容と今後の方針②

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果と今後の方針	対象部門
2	廃棄物排出量削減			全部門
	2-1 産業廃棄物排出量削減	1. 分別基準の作成し、分別指導 2. 工場内の分別廃棄を徹底し、産業廃棄物の定量把握を継続	廃棄物の分別基準・分別廃棄の指導を行った。 今後も廃棄物の定量把握を行い分別の徹底を行う。	
	2-2 一般廃棄物排出量削減	1. 分別基準を作成し、分別指導 2. 工場内の分別廃棄を徹底し、一般廃棄物の定量把握を継続し、今後削減の施策を検討		



〈 分別廃棄の徹底 〉



〈 廃棄物表示で分別指導 〉

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果と今後の方針	対象部門
3	水使用量削減	1. 使用量把握と適切な管理	節水への啓蒙を行い、使用料を適切に管理した。 今後も節水を推進していく。	全部門
		2. 水回りに節水ラベルの貼付		全部門



〈 取付前 〉



〈 取付後 〉

【H27(2015)年02月】ジェットタオルを設置。衛生面の向上対策としてトイレ洗面台横に熱風ジェットタオルを設置済み。

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果と今後の方針	対象部門
4	グリーン購入の推進	1. グリーン商品の確認・購入	施策としては、品目リストの作成を行い推進対策を検討する。 今後も積極的に購入比率を把握する。	全部門
		2. グリーン商品購入比率のフィードバック		全部門

本年度より、アスクルとイークイックスおよび@Officeを3社比較することによるグリーン購入品を推進していく。

【 7 】環境活動計画の取組内容と今後の方針③

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果と今後の方針	対象部門
5	製品・サービスに関する環境配慮	1. 省エネ・環境高材の販売を適切に管理 2. 省エネ・環境高材の積極的紹介	省エネ・環境高材のメーカー勉強会で商品の知識向上を図り、全従業員に対して、勉強会を行った。今後も展示会等において環境高材のPR活動を行う。	全部門 全従業員

↓【H26(2014)年09月】

大分県中小企業同友会 ビジネス交流会へ出展 場所:大分イベントホール



『見て』、『触って』、『飲んで』をコンセプトに体験できるショールームを設置

【H26(2014)年08月】 第二工場 本社 玄関にショールームを設置↑



↑【H27(2015)年02月】ものづくり王国総合展に出展。
 場所:別府国際コンベンションセンター(B-ConPlaza)
 弊社取扱い環境高材、LED照明等のアピール活動を行う。

【 8 】環境関連法規等の遵守状況

(1) 遵守すべき関連法規

適用される主な環境関連法規等は次のとおり。

法律等の名称	当社に適用される要求事項	当社の対応自主基準	管理責任者 責任部門	評価時期	証拠となる記録等	適否 要○印
廃棄物処理法 (廃棄物の処理 及び 清掃に関する法律)	(産業廃棄物の保管基準) ・指示板設置 大きさ:60cm×60cm以上 種類・管理者名・連絡先・積上げ高さを表示 ・保管施設により、飛散、流出及び地下浸透しない措置 ・ネズミ、蚊、ハエその他害虫発生防止	・基準に適合した措置	管理部	日常点検	現物監視	適 否 (3/20)
	(産業廃棄物の委託基準) ・知事の許可を受けた収集運搬業者又は処理業者の 夫々と契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容など必要事項記載 ・収集運搬業又は処理業の許可証添付	・委託基準の遵守 (期限内の許可証添付)	管理部	毎年8月	委託契約書 許可証写し	適 否 (3/20)
	(産業廃棄物管理票) ・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)A票、B2票、D票、E票を5年保存	・排出部門が記載 ・ファイルに保管	排出部門 排出部門	毎年8月 毎年8月	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)	適 否 (3/20)
	・90日以内にB2、D票、180日以内にE票の送付がない場合は、 業者へ照会し、状況を30日以内に行政へ報告	・毎月1回チェック	管理部	1回/月	産業廃棄物管理票 未回収報告書	適 否 (3/20)
	(産業廃棄物管理票交付等状況報告) ・前年度の交付状況を報告 ・中間処理業者の交付する2次マニフェストも報告 ・県内で排出したものに限り	毎年4月1日～6月30日の 間に提出	管理部	1回/年	交付等状況報告書	適 否 (3/20)
浄化槽法	(設置等の届出) ・設置又は構造/規模変更時の届出	・規制遵守	管理部	1回/年	届出控	適 否 (3/20)
	(定期検査) ・1回/年 水質検査実施	・専門業者に委託	管理部	1回/年	点検・検査記録	
	(保守点検) ・1回/2ヶ月					
	(浄化槽管理者の義務) ・1回/年 保守点検及び清掃の実施					
騒音規制法	・空気圧縮機(原動機の定格出力15kw以上)を使用する作業 (特定施設の届出) ・空気圧縮機:7.5kw以上	・規制遵守	管理部	1回/年	届出控	適 否 (3/20)
消防法 (広域行政組合 火災予防条例)	(一定規模以上の事業所に対する規定) 防火管理者の選任(従業員50人以上) 消防計画等の規定 取締り当局の建築許可等の同意 立入り検査改善命令等	・規制遵守		1回/年	届出控	適 否 (3/20)
電気事業法	事業用電気工作物を経済産業省令で定める技術基準に適合するように維持	・規制遵守 専門業者に委託し、 法定自主検査実施	管理部	1回/年	自主点検記録	適 否 (3/20)

(2) 環境関連法規制の遵守状況

チェックリストにより運用期間の法規違反なし。また過去3年間、
関連機関からの指導等はなかった

【 9 】環境活動パフォーマンス

(1) 『シート縫製 新生支援学校実習』・『大分大学 企業見学会』



＜ 端末糸切の様子 ＞



＜ ライン見学の様子 ＞

H26(2014)年10月6日(月)～10月17日(金)

(写真左)

加工材料の仕分けと運搬

部品の端末糸切り

(写真右)

H26(2014)年 12月25日(水)7名来社

(2) 『小学生の半導体工場見学』(地域への貢献)



＜ 中島小学校 ＞



＜ 明野西小学校 ＞

H26(2014)年10月17日(金)

『平成26年度 中島小学校ものづくり現場
見学ツアー』5年生(51名)・先生(3名)

H26(2014)年10月29日(水)

『平成26年度 明野西小学校見学遠足』
5年生(77名)・先生(4名)

(3) 『総合避難訓練』



＜ 総員避難後の様子 ＞



＜ 消火器訓練 ＞

H26年11月20日(木)

工場全域を対象とした地震発生時の
総合避難訓練を実施し、避難時等の
問題点の洗い出しについて確認を行った。

【 訓練内容 】

1)地震発生直後の安全確保

(机下等への避難)

2)被害状況(人・建屋・設備)の把握・連絡

3)初期消火(初期消火班による消火訓練)

4)総員避難

【10】代表者による全体評価と見直し結果

エコアクション21を導入してから2年目を迎えました。

環境活動では、目標に挙げています『**かけがえのない地球環境を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務**』との認識に立ち、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動を認識し、全社員がエコアクション21の運用について、さらなる企業の社会的責任を果たすべく、活動に努めてまいりました。

①二酸化炭素排出量削減について

二酸化炭素排出量削減について、前年度(2013年)が目標1.0(%)削減に対し実績7.4(%)削減。続く本年度(2014年)も目標2.0(%)削減に対し実績5.7(%)削減。改善活動では以前から実施している空調機の適正温度管理(夏季28℃、冬季20℃)に加え、消費電力削減効果を狙い導入した「TEL-CON」、また照明の間引きやLED化による節電運動での削減効果が出てきており、継続して取り組みを行っていく。但し、化石燃料消費量削減では、目標未達項目もあり、A重油、ガソリン、軽油の使用量把握と適切な管理を継続します。

②廃棄物排出量削減について

産業廃棄物の削減について、基準期間と比較し2013年度・2014年度と削減傾向にあり、削減効果が出てきており、継続して取り組みを行っていく。一般廃棄物排出量削減については、前年度(2013年)データがなく、本年度(2014年)からデータの取得を開始した。引き続き定量数を把握管理し、今後の削減施策を検討します。

③製品・サービスに関する環境配慮について

環境活動は、事業所内の環境負荷の徹底低減のみならず、提供する製品・サービスのライフサイクル全体の環境負荷低減に努め、また顧客や市場の環境意識向上の働きかけを強化すべく、自社にショールームの設置や展示会などに積極的に出展し、省エネ・環境事業を通じて、お客様に低炭素社会実現のお手伝いと環境改善の活動を行いました。